

田名池開発の進捗状況について伺う / 新垣雅士

田名池開発については、地域住民や村民からの要望があり、いろいろと取り組んでいるところでありますが、現在、どのような状況にあるのかをお伺いしたいと思います。

■議長（金城信光） 答弁、企画財政課長。

■名嘉丈祝企画財政課長 新垣議員のご質問にお答えいたします。ご指摘のとおり、田名池、いわゆる田名グムイの整備につきましては、従来より地域住民の関心や整備要望が高いため、第 5 次伊平屋村総合計画でより具体的な推進方策を定め、一次産業に係る貴重な水資源の確保、美しい里山景観の保全、生物多様性と持続可能な水辺環境の保全及び利活用など、本村の重要な課題と位置付けた推進計画を検討しております。

昨年度までは推進事務局の設置やボランティア活動の実施、野鳥観察会や水環境ワークショップ等の啓発活動を行ってまいりました。また、先に行った環境調査の報告会や、住民アンケートの実施により、再生計画の策定に向けた認知や機運の醸成を図ってきたところでございます。今年度も引き続きボランティア活動を実施いたしましたが、農林水産課で実施予定の緊急浚渫^{しゅんせつ}事業を活用したホテイアオイの除去作業も、今後行う予定となっております。

なお、本事業はこれまでの活動内容が新聞等のマスメディアに取り上げられたこともありまして、国や県での認知や関心も高まってきております。去る 3 月末には県北部農林水産振興センターから本事業について事業支援の意向を受けまして、

様々な補助メニューの紹介もいただくと同時に、併せて県内外の複数の学校からボランティア活動の参加について問い合わせを受けているところでございます。

今後につきましては、住民アンケートでニーズの高かった、湧水公園化やふれあい牧場の整備など、レクリエーション施設の整備と併せ、農業用水の確保や浚渫土（河川や港湾の底から掘り取った土砂や汚泥）の農地還元化など、土層改良事業はたい肥センターとの連携を視野に推進協議会を設置するとともに、各施策が相乗効果を発揮し、村民生活の向上はもとより持続可能な農業振興や観光振興を基軸とした地域活性化を目指し、推進体制をより強化してまいりたいと考えているところで

す。

以上でございます。

■議長（金城信光） 新垣議員。

■6番 新垣雅士議員 水源の確保やいろいろな部分での活動をしながら再生をしていくという主管課のお考えでありますけれども、村長、この点について何かお考えがあればお伺いします。

■議長（金城信光） 真栄田孝村長。

■真栄田孝村長 お答えします。今回、就任して間もなくで、この事業に対してあまり詳しく見ていなくて、担当課長からも答弁がありましたように、村の課題でありますこの田名池計画について、村民を含めて協議会を立ち上げて、この事業が本当に島のためになるのか、これを作ったあとにこの島のためにどうなっていくのかというのを、この議会で最初の所信でもあげたように、やはり事業を、誰のための

事業かと考えながら、この事業がどういうふうな方向に行くのか、自分が思っているビジョンと当たっているのかということを確認しながらやっていって、それが合致すれば本事業を推進していきたいと思っています。以上です。

■議長（金城信光） 新垣議員。

■6番 新垣雅士議員 村長、いろいろ今後の内容を見極めながら進めていくという事で理解しますが、私がこの田名池に関して質問したのは、農家の水源確保、先ほど課長のほうからありましたけれども、農家の水源確保という思いからこの質問をしました。現在、北部かんがい排水事業も終えているんですけども、実際にはサトウキビ農家の水不足は解消できない状況にあるわけです。

また、稲作農家も二期作の植え付けについてはかなり水不足で、田名川からポンプアップをするなどして二期の植え付けを行っているというのが現状です。特に今年の水不足で、田名のアサノダム（かどぼる門原ダム）も水が枯れている状態。この干ばつ対策としても池をぜひ再生、再利用、水源地として利用できるようにして、農家の負担軽減を図るということで、これは村長の公約の中にもありますけれども、稼げる農業、そういうものにもつなげていけるというふうに思っていますので、ぜひ、この水源池としての確保をして、農業振興に努めていただけることを切にお願いして、私の質問を終わらせていただきます。